

特別企画： 2017 年度第 2 四半期 主要上場建設会社 58 社の受注・業績動向調査

受注高 4.8%減で 2 期ぶりの減少

～粗利率では大手と中堅以下で格差～

はじめに

上場建設会社の 2017 年度第 2 四半期（中間期）決算が出揃った。

リニア中央新幹線建設工事をめぐるスーパーゼネコンの談合問題に揺れる建設業界。除染工事に絡んだ下請け業者との癒着や、死亡事故につながる現場管理体制の不備など、企業コンプライアンスの面からも、このところ話題が多くなっている。

それでも、首都圏を中心に再開発や五輪関連の需要に加え、輸出好調で企業業績が向上しているなかであって、底堅い官・民の受注に支えられ市場は活況を見せている。総じて建設コストも安定していることから、ゼネコン各社は好業績を続けているが、半面、全産業において深刻化する人手不足や上昇気配を見せる資材価格の動きなどを踏まえ、労働力の確保や生産性の向上など、今後への課題は多い。

帝国データバンクは、全国の主要上場建設会社の 2017 年度第 2 四半期の決算短信から、単体ベースの受注高とその官民比率、および連結ベースの売上高、売上総利益率について調査・分析した。調査対象は主要な上場建設会社 58 社。

※ （株）竹中工務店（未上場）は含めていない。

※ 前回調査は 2017 年 6 月 28 日、前々回調査は 2016 年 12 月 27 日。

調査結果要旨

1. 主要上場建設会社 58 社のうち、単体の受注高が判明している 43 社の 2017 年度第 2 四半期の受注高合計は、前年同期比 4.8%減の 5 兆 5073 億 7400 万円となった。受注高は 2 期ぶりに減少に転じた
2. 工事受注高の内訳（官・民）が判明している 33 社をみると、官公庁工事の受注高は、前年同期比 29.4%減の 1 兆 1541 億 1400 万円。民間工事の受注高は、前年同期比 4.1%減の 3 兆 3206 億 9400 万円。官公庁は 2 期ぶり、民間は 3 期ぶりの減少となった
3. 主要上場建設会社 58 社の売上高合計（連結ベース）は、前年同期比 4.2%増の 6 兆 9196 億 5300 万円
4. 上場建設会社 58 社の売上高総利益率（連結ベース）の平均をみると、2017 年度第 2 四半期は 12.5%。前年同期比 0.1 ポイントの低下となった。ただし、利益率が低下しているのは総じて中堅以下のゼネコンで、「スーパーゼネコン」は利益率を伸ばしている

1. 受注高動向 ～受注高は4.8%減、2期ぶりに減少

主要上場建設会社58社のうち、単体の受注高の判明している43社の2017年度第2四半期の受注高合計は、前年同期比4.8%減の5兆5073億7400万円となった。

受注高合計

単位：百万円

2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	前年同期比 増減率	増加 企業数	減少 企業数
5,786,485	5,507,374	▲4.8%	22	21

※個別受注高の判明した43社が対象

増加企業数は22社、減少企業数は21社とほぼ同数となっている。

2010年度以降、一貫して上昇を続けていた工事受注は、2015年度に一度マイナスに転じたものの、2016年度では官民ともに回復していた。2017年度第2四半期においては、官・民ともに底堅い需要があり受注高そのものは高水準であるものの、2016年度からの反動減で2期ぶりに減少に転じた。

受注高の増加率では、官民ともに受注を伸ばした「東急建設」が前年同期比55.0%増でトップ。次いで「巴コーポレーション」が同39.4%増、海外で複数の大型土木工事を受注した「五洋建設」が37.8%増と続いた。減少率では「北野建設」の同46.9%減がもっとも大きく、次いで「奥村組」の同39.3%減となるなど、減少率の大きい企業は官民ともに受注が低迷している傾向にある。

受注高増減率(単体)上位10社

単位：百万円

順位	社名	決算月	所在地	2017年度 第2四半期 受注高	前年同期比 増減率	<内訳>								
						官公庁	増減率	民間	増減率	海外	増減率	その他	増減率	
1	東急建設	3	東京	128,108	55.0%	18,624	26.7%	107,306	56.2%	2,177	-	-	-	-
2	巴コーポレーション	3	東京	12,520	39.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	五洋建設	3	東京	368,548	37.8%	63,565	▲11.9%	112,895	▲17.1%	191,752	233.5%	335	▲80.4%	
4	熊谷組	3	東京	172,226	29.6%	46,192	74.4%	125,414	18.0%	619	-	-	-	
5	森組	3	大阪	12,755	27.0%	4,226	7.3%	8,529	39.8%	-	-	-	-	
6	佐藤渡辺	3	東京	17,252	22.9%	-	-	-	-	-	-	1,988	▲1.5%	
7	前田建設工業	3	東京	248,977	22.1%	59,505	▲37.1%	181,154	66.7%	6,933	-	1,382	45.5%	
8	新日本建設	3	千葉	50,212	21.2%	-	-	-	-	-	-	25,211	39.9%	
9	大末建設	3	大阪	42,956	14.4%	5,966	439.6%	36,989	1.5%	-	-	-	-	
10	東亜建設工業	3	東京	66,991	13.3%	26,817	▲18.4%	36,844	37.1%	2,455	-	874	▲12.9%	

受注高増減率(単体)下位10社

単位：百万円

順位	社名	決算月	所在地	2017年度 第2四半期 受注高	前年同期比 増減率	<内訳>								
						官公庁	増減率	民間	増減率	海外	増減率	その他	増減率	
1	北野建設	3	長野	25,859	▲46.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	奥村組	3	大阪	67,831	▲39.3%	29,408	▲47.8%	38,416	▲30.5%	7	▲1	-	-	
3	鈴縫工業	3	茨城	7,192	▲37.3%	3,667	▲46.2%	3,524	▲24.2%	-	-	-	-	
4	安藤・間(旧・間組)	3	東京	135,041	▲35.4%	21,150	▲73.5%	102,990	▲11.3%	10,901	▲16.3%	-	-	
5	大豊建設	3	東京	44,578	▲35.0%	22,663	▲31.3%	21,807	▲18.4%	107	▲98.8%	-	-	
6	鹿島建設	3	東京	551,221	▲33.3%	96,028	▲60.6%	428,184	▲26.9%	1,426	-	25,582	3.8%	
7	銭高組	3	大阪	42,396	▲27.1%	12,259	▲17.6%	30,136	▲30.4%	-	-	-	-	
8	飛鳥建設	3	神奈川	65,312	▲25.2%	26,524	▲41.7%	35,031	10.0%	3,138	▲66.8%	617	23.0%	
9	浅沼組	3	大阪	75,981	▲20.6%	23,374	▲31.9%	52,607	▲14.3%	-	-	-	-	
10	青木あすなろ建設	3	東京	40,705	▲19.4%	11,956	▲40.0%	28,739	▲6.0%	-	-	245	▲73.5%	

2. 受注動向<官・民内訳> ~官公庁は2期ぶり、民間は3期ぶりの減少

工事受注高の内訳（官・民）が判明している33社でみると、官公庁工事の受注高は、前年同期比29.4%減の1兆1541億1400万円となった。

増加企業数は13社に対し、減少企業数は20社となった。

2016年度は、予算の前倒し執行で公共投資が期初より活況を呈し、インフラ投資が加速したが、2017年度第2四半期の段階では前年度の反動減から3割近い減少となっている。

官公庁受注高の伸び率は、「大末建設」が前年同期比439.6%増でトップ。次いで「熊谷組」の同74.4%増、「福田組」の同63.6%増となった。

民間工事の受注高は、前年同期比4.1%減の3兆3206億9400万円。2014年度第2四半期以来、3期ぶりに減少に転じた。増加企業数13社に対し、減少企業数は20社となり、官公庁受注と同様に過半が受注減となった。

民間受注高の伸び率は、鈍化しつつも年度ベースでは6期連続で増加となるなど底堅く推移していたが、2017年度の間中期では3期ぶりの減少となった。しかしながら、官公庁受注に比べ減少幅は小さく、通年では受注増加となる可能性もある。

民間受注高の伸び率トップは「前田建設工業」の前年同期比66.7%増。次いで「東急建設」の同56.2%増となった。

【官公庁】受注高合計

単位：百万円

2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	前年同期比 増減率	増加 企業数	減少 企業数
1,635,643	1,154,114	▲29.4%	13	20

※官・民内訳の判明した33社が対象

【官公庁】受注高増減率(単体)上位10社

単位：百万円

	社名	決算月	所在地	2016年度 第2四半期 受注高	2017年度 第2四半期 受注高	前年同期比 増減率
1	大末建設	3	大阪	1,105	5,966	439.6%
2	熊谷組	3	東京	26,491	46,192	74.4%
3	福田組	12	新潟	14,010	22,916	63.6%
4	大林組	3	東京	89,389	144,113	61.2%
5	東洋建設	3	東京	34,683	45,801	32.1%
6	ナカノフドー建設	3	東京	6,270	8,025	28.0%
7	東急建設	3	東京	14,697	18,624	26.7%
8	松井建設	3	東京	7,277	8,626	18.5%
9	鉄建建設	3	東京	21,840	25,212	15.4%
10	世紀東急工業	3	東京	12,846	13,838	7.7%

【民間】受注高合計

単位：百万円

2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	前年同期比 増減率	増加 企業数	減少 企業数
3,463,446	3,320,694	▲4.1%	13	20

※官・民内訳の判明した33社が対象

【民間】受注高増減率(単体)上位10社

単位：百万円

	社名	決算月	所在地	2016年度 第2四半期 受注高	2017年度 第2四半期 受注高	前年同期比 増減率
1	前田建設工業	3	東京	108,671	181,154	66.7%
2	東急建設	3	東京	68,718	107,306	56.2%
3	佐田建設	3	群馬	5,312	7,648	44.0%
4	森組	3	大阪	6,103	8,529	39.8%
5	東亜建設工業	3	東京	26,874	36,844	37.1%
6	熊谷組	3	東京	106,314	125,414	18.0%
7	大成建設	3	東京	412,624	457,479	10.9%
8	西松建設	3	東京	74,796	82,856	10.8%
9	飛鳥建設	3	神奈川	31,838	35,031	10.0%
10	戸田建設	3	東京	145,603	154,637	6.2%

3. 売上高動向 ～売上高は4.2%増

主要上場建設会社58社の売上高合計（連結ベース）は、前年同期比4.2%増の6兆9196億5300万円。

増収企業数は39社に達する一方、減収企業数は19社にとどまった。

売上高の増加率トップは、「常磐開発」の前年同期比44.2%増、続いて「ピーエス三菱」の同38.0%増、「大本組」の同35.9%増となっている。

売上高の減少率をもっとも大きかったのは、「大末建設」の同17.5%減。次いで、「ナカノフド一建設」の同15.3%減、長期大型案件が低進捗となっている「西松建設」の同13.8%減。

2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	前年同期比 増減率	増収 企業数	減収 企業数
6,643,664	6,919,653	4.2%	39	19

売上高増減率(連結)上位10社

単位：百万円

	社名	決算月	所在地	2017年度 第2四半期 売上高	前年同期比 増減率
1	常磐開発	3	福島	9,404	44.2%
2	ピーエス三菱	3	東京	54,034	38.0%
3	大本組	3	岡山	54,116	35.9%
4	銭高組	3	大阪	64,217	35.7%
5	植木組	3	新潟	21,091	33.3%
6	森組	3	大阪	18,151	33.0%
7	テクノクス	3	東京	11,427	27.7%
8	北野建設	3	長野	38,418	26.0%
9	世紀東急工業	3	東京	31,279	24.7%
10	若築建設	3	東京	43,466	23.3%

※大本組、森組は非連結決算

売上高増減率(連結)下位10社

単位：百万円

	社名	決算月	所在地	2017年度 第2四半期 売上高	前年同期比 増減率
1	大末建設	3	大阪	23,285	▲17.5%
2	ナカノフド一建設	3	東京	48,031	▲15.3%
3	西松建設	3	東京	130,082	▲13.8%
4	バコーボレーション	3	東京	11,782	▲13.2%
5	不動テトラ	3	東京	28,132	▲11.5%
6	戸田建設	3	東京	181,696	▲11.0%
7	金下建設	12	京都	4,750	▲10.8%
8	松井建設	3	東京	39,052	▲9.8%
9	守谷商会	3	長野	15,561	▲7.6%
10	南海辰村建設	3	大阪	19,179	▲6.5%

4. 売上総利益率動向 ～粗利率の上昇止まる

上場建設会社58社の売上総利益率の平均をみると、2017年度第2四半期は12.5%。前年同期の12.6%に比べて、わずかではあるが0.1ポイントの低下となった。売上総利益率はスーパーゼネコンを中心に26社で上昇し、中堅以下を中心に32社で低下した。

売上総利益率【平均】

2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	前年同期比 増減(pt)	上昇 企業数	低下 企業数
12.6%	12.5%	▲0.1	26	32

大手ゼネコンでは採算重視の選別受注が進み、近年は利益水準が上昇していたほか、建設コストも総じて安定していることから引き続き高水準となっているものの、労働力や資材確保に地域差が出ている面もあり、全体としての利益水準の上昇傾向は一旦ストップしたとみられる。

売上総利益率の増加幅トップは、前年同期で大幅に利益率が悪化していた「日本基礎技術」で前年同期比5.6ポイントの上昇。次いで、「森組（非連結）」が同3.8ポイントの上昇となっている。減少幅では、「矢作建設工業」の5.3ポイントの悪化が最大となった。

売上総利益率増減ポイント(連結)上位10社

順位	社名	決算月	所在地	2017年度 第2四半期 売上総利益率	
				2017年度 第2四半期 売上総利益率	前年同期比 増減(pt)
1	日本基礎技術	3	大阪	12.3%	5.6
2	森組	3	大阪	12.8%	3.8
3	巴コーポレーション	3	東京	21.2%	3.5
4	前田建設工業	3	東京	13.9%	3.1
5	第一建設工業	3	新潟	16.9%	2.8
6	安藤・間(旧・間組)	3	東京	15.8%	2.4
7	戸田建設	3	東京	14.3%	2.0
8	名工建設	3	愛知	10.7%	1.8
9	不動テトラ	3	東京	17.2%	1.7
10	鉄建建設	3	東京	10.7%	1.6

※森組、第一建設は非連結決算

売上総利益率増減ポイント(連結)下位10社

順位	社名	決算月	所在地	2017年度 第2四半期 売上総利益率	
				2017年度 第2四半期 売上総利益率	前年同期比 増減(pt)
1	矢作建設工業	3	愛知	15.0%	▲ 5.3
2	東急建設	3	東京	11.4%	▲ 3.5
3	佐藤渡辺	3	東京	7.5%	▲ 3.2
4	世紀東急工業	3	東京	11.1%	▲ 3.0
5	北野建設	3	長野	10.6%	▲ 2.9
6	鈴縫工業	3	茨城	15.2%	▲ 2.7
7	常磐開発	3	福島	15.7%	▲ 2.3
8	守谷商会	3	長野	9.0%	▲ 2.1
9	大本組	3	岡山	12.5%	▲ 2.1
10	青木あすなろ建設	3	東京	10.6%	▲ 2.0

※大本組は非連結決算

5. 企業規模別分析 ～スーパーゼネコンのみ引き続き売上総利益が上昇

受注高の動向をみると、年商規模によって状況が大きく異なっていることがわかる。「スーパーゼネコン」では10.2%の大幅減となった一方、「1000億円以上」では0.3%増、「1000億円未満」では0.4%減とそれぞれほぼ前年と同水準となっている。スーパーゼネコンの動向は、業界全体のトレンドに先行性を持っているといわれることから、今後は準大手以下も受注の減少傾向が強まる可能性がある。

また、売上総利益率をみると、「スーパーゼネコン」の売上総利益率が前年度比0.5ポイント上昇し13.7%となった一方、「1000億円以上」「1000億円未満」では逆に同0.1ポイント、同0.3ポイントの低下となった。選別受注の強化により建設コストを吸収できる大手ゼネコンと、徐々に上昇している労務費や資材価格への対策が課題となる中堅以下のゼネコンで、利幅に格差が生じていると見られる。

会社規模(通期売上)別 2017年度第2四半期業績指標

会社規模	受注高 増減率	官公庁		民間	売上高増減率	2017年度第2四半期 売上総利益率 (個別企業の平均)	
		官公庁	民間			売上総利益率	増減(pt)
スーパーゼネコン	▲ 10.2%	▲ 35.4%	▲ 9.3%		2.5%	13.7%	0.5
1000億円以上	0.3%	▲ 25.7%	3.1%		4.8%	12.4%	▲ 0.1
1000億円未満	▲ 0.4%	▲ 1.8%	▲ 0.4%		9.8%	12.3%	▲ 0.3
全体	▲ 4.8%	▲ 29.4%	▲ 4.1%		7.1%	12.5%	▲ 0.1

※売上高増減率、売上総利益率平均の算出は、58社が対象

内訳は、スーパーゼネコン：4社、1000億円以上：25社、1000億円未満：29社

※受注高増減率の算出は、43社が対象

内訳は、スーパーゼネコン：4社、1000億円以上：22社、1000億円未満：17社

※官民受注高の増減率の算出は33社が対象

内訳は、スーパーゼネコン：4社、1000億円以上：19社、1000億円未満：10社

まとめ

今回の調査では、受注高が2期ぶりに減少に転じ、年単位での変動が大きい官公庁工事では2期ぶり、堅調な成長を続けていた民間工事では3期ぶりにいずれも受注が減少している。背景には、2016年度に実施された予算の前倒し執行や旺盛なインフラ投資の反動減があると見られるが、総じてみれば高水準での推移となっている。

東京五輪に向けた再開発事業は、発注面でピークアウトの様相を呈し始めてはいるものの、引き続き業界環境を牽引していくと見られる。しかし、マンション開発では首都圏を中心にやや慎重な供給となっている面もあり、ゼネコン各社は五輪後を見据えた生産性向上策にも目を向け始めている。

人手不足に伴う労務費の増大や海外情勢の変動による資材価格の高騰など不確定要素は多いほか、都市部に集中した建設需要の陰で、地方の案件では人員確保や資材供給のバランスが悪化しているとの見方もある。しばらくは好況を維持していく可能性が高いものの、本調査の通り、選別受注を進めている大手と中堅以下との利益率に差が出始めている。小規模の建設業者の倒産も増え始めていることに鑑みれば、体制の二極化が進んでいくと見られる。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 東京支社 情報部

箕輪 陽介

TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348

e-mail: yousuke.minowa@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【2017年度第2四半期連結業績】

単位：百万円

	企業コード	社名	証券コード	決算月	所在地	売上高	前年同期比 増減率	売上総利益	売上総利益率	前年同期比 増減(pt)
1	580000489	大林組	1802	3	東京	917,463	6.8%	109,403	11.9%	0.1
2	985115201	鹿島建設	1812	3	東京	822,731	1.2%	123,085	15.0%	0.6
3	985376100	大成建設	1801	3	東京	685,350	6.0%	103,014	15.0%	0.8
4	985302607	清水建設	1803	3	東京	685,066	▲ 3.8%	88,183	12.9%	0.5
5	985694202	長谷工コーポレーション	1808	3	東京	389,420	13.0%	69,649	17.9%	▲ 0.2
6	985192757	五洋建設	1893	3	東京	250,796	4.0%	21,843	8.7%	0.5
7	985763201	前田建設工業	1824	3	東京	213,694	9.6%	29,796	13.9%	3.1
8	985785700	三井住友建設	1821	3	東京	193,799	5.7%	23,235	12.0%	0.2
9	981459429	安藤・間(旧・間組)	1719	3	東京	187,325	▲ 0.4%	29,588	15.8%	2.4
10	985456201	戸田建設	1860	3	東京	181,696	▲ 11.0%	25,937	14.3%	2.0
11	985677005	NIPPO	1881	3	東京	178,892	6.2%	27,911	15.6%	▲ 1.2
12	985175406	熊谷組	1861	3	東京	167,991	8.3%	16,944	10.1%	▲ 1.7
13	985604902	西松建設	1820	3	東京	130,082	▲ 13.8%	18,801	14.5%	1.5
14	987447677	東急建設	1720	3	東京	125,938	21.7%	14,399	11.4%	▲ 3.5
15	580058166	奥村組	1833	3	大阪	107,947	14.3%	16,696	15.5%	1.2
16	985763506	前田道路	1883	3	東京	104,528	2.9%	13,980	13.4%	▲ 1.7
17	580015660	東洋建設	1890	3	東京	81,500	12.7%	9,173	11.3%	0.5
18	340016390	福田組	1899	12	新潟	79,410	▲ 2.3%	8,552	10.8%	▲ 1.6
19	985462502	東亜建設工業	1885	3	東京	74,290	▲ 4.7%	7,582	10.2%	▲ 0.5
20	985446106	鉄建建設	1815	3	東京	73,655	5.3%	7,866	10.7%	1.6
21	985190805	青木あすなろ建設	1865	3	東京	70,923	9.0%	7,531	10.6%	▲ 2.0
22	580016621	浅沼組	1852	3	大阪	65,437	12.3%	6,912	10.6%	▲ 0.4
23	985391509	大豊建設	1822	3	東京	64,730	1.2%	5,724	8.8%	▲ 0.6
24	580000498	銭高組	1811	3	大阪	64,217	35.7%	6,677	10.4%	▲ 0.2
25	985554604	飛鳥建設	1805	3	神奈川	58,354	6.0%	5,799	9.9%	▲ 0.7
26	985672107	日本道路	1884	3	東京	57,635	▲ 1.0%	5,859	10.2%	▲ 1.2
27	610005571	大本組	1793	3(非連結)	岡山	54,116	35.9%	6,759	12.5%	▲ 2.1
28	985706500	ピーエス三菱	1871	3	東京	54,034	38.0%	6,515	12.1%	1.0
29	985522306	東鉄工業	1835	3	東京	49,788	2.1%	7,562	15.2%	0.1
30	985570902	ナカノフドー建設	1827	3	東京	48,031	▲ 15.3%	4,674	9.7%	▲ 0.4
31	985855500	ライト工業	1926	3	東京	45,998	▲ 2.3%	8,767	19.1%	0.6
32	985865300	若築建設	1888	3	東京	43,466	23.3%	4,016	9.2%	▲ 0.5
33	400145644	名工建設	1869	3	愛知	40,746	6.4%	4,376	10.7%	1.8
34	400150715	矢作建設工業	1870	3	愛知	40,444	▲ 1.6%	6,081	15.0%	▲ 5.3
35	580000390	イチケン	1847	3(非連結)	東京	39,964	10.9%	3,614	9.0%	▲ 0.2
36	985765402	松井建設	1810	3	東京	39,052	▲ 9.8%	4,188	10.7%	▲ 0.9
37	330021912	北野建設	1866	3	長野	38,418	26.0%	4,060	10.6%	▲ 2.9
38	260084044	新日本建設	1879	3	千葉	34,855	▲ 3.2%	7,132	20.5%	0.7
39	985463500	東亜道路工業	1882	3	東京	34,325	2.3%	3,471	10.1%	▲ 0.4
40	985351601	世紀東急工業	1898	3	東京	31,279	24.7%	3,478	11.1%	▲ 3.0
41	580033686	不動テトラ	1813	3	東京	28,132	▲ 11.5%	4,839	17.2%	1.7
42	985672902	日特建設	1929	3	東京	26,064	12.7%	4,304	16.5%	0.7
43	580055281	大末建設	1814	3	大阪	23,285	▲ 17.5%	2,008	8.6%	▲ 1.6
44	340010117	第一建設工業	1799	3(非連結)	新潟	22,208	4.2%	3,755	16.9%	2.8
45	360001474	植木組	1867	3	新潟	21,091	33.3%	2,337	11.1%	▲ 1.3
46	400094222	徳倉建設	1892	3	愛知	20,314	2.8%	1,771	8.7%	▲ 0.5
47	580082564	南海辰村建設	1850	3	大阪	19,179	▲ 6.5%	1,926	10.0%	▲ 0.4
48	580015552	森組	1853	3(非連結)	大阪	18,151	33.0%	2,327	12.8%	3.8
49	985866101	佐藤渡辺	1807	3	東京	15,780	5.4%	1,191	7.5%	▲ 3.2
50	330027003	守谷商会	1798	3	長野	15,561	▲ 7.6%	1,401	9.0%	▲ 2.1
51	985231659	三井住建道路	1776	3	東京	13,814	14.7%	1,334	9.7%	0.7
52	220018509	佐田建設	1826	3	群馬	12,489	▲ 0.4%	871	7.0%	▲ 1.6
53	985555002	巴コーポレーション	1921	3	東京	11,782	▲ 13.2%	2,498	21.2%	3.5
54	985442081	テノックス	1905	3	東京	11,427	27.7%	1,745	15.3%	0.8
55	580027141	日本基礎技術	1914	3	大阪	10,990	6.3%	1,350	12.3%	5.6
56	985551701	常磐開発	1782	3	福島	9,404	44.2%	1,478	15.7%	▲ 2.3
57	250306111	鈴縫工業	1846	3	茨城	7,847	13.6%	1,192	15.2%	▲ 2.7
58	560008621	金下建設	1897	12	京都	4,750	▲ 10.8%	560	11.8%	▲ 0.9

【2017年度第2四半期受注高(単体ベース)】

単位：百万円

	企業コード	社名	受注高	官公庁		民間		海外	その他			
				前年同期比 増減率	前年同期比 増減率	前年同期比 増減率	前年同期比 増減率					
1	985302607	清水建設	722,814	10.8%	144,276	1.1%	445,542	▲ 9.5%	96,149	-	36,846	152.9%
2	985376100	大成建設	609,580	▲ 15.7%	137,265	▲ 58.6%	457,479	10.9%	5,919	-	8,915	19.0%
3	580000489	大林組	608,142	6.1%	144,113	61.2%	438,344	▲ 5.1%	18,891	20.3%	6,793	4.6%
4	985115201	鹿島建設	551,221	▲ 33.3%	96,028	▲ 60.6%	428,184	▲ 26.9%	1,426	-	25,582	3.8%
5	985192757	五洋建設	368,548	37.8%	63,565	▲ 11.9%	112,895	▲ 17.1%	191,752	233.5%	335	▲ 80.4%
6	985763201	前田建設工業	248,977	22.1%	59,505	▲ 37.1%	181,154	66.7%	6,933	-	1,382	45.5%
7	985694202	長谷工コーポレーション	208,380	▲ 7.2%	-	-	-	-	-	-	6,850	▲ 7.9%
8	985456201	戸田建設	201,090	▲ 3.1%	42,487	▲ 25.5%	154,637	6.2%	1,068	▲ 48.2%	2,896	2.2%
9	985175406	熊谷組	172,226	29.6%	46,192	74.4%	125,414	18.0%	619	-	-	-
10	985785700	三井住友建設	137,293	▲ 3.8%	31,227	▲ 24.9%	95,792	▲ 4.6%	10,273	-	-	-
11	981459429	安藤・間(旧・間組)	135,041	▲ 35.4%	21,150	▲ 73.5%	102,990	▲ 11.3%	10,901	▲ 16.3%	-	-
12	987447677	東急建設	128,108	55.0%	18,624	26.7%	107,306	56.2%	2,177	-	-	-
13	985604902	西松建設	116,896	0.2%	24,398	▲ 57.3%	82,856	10.8%	9,641	-	-	-
14	985763506	前田道路	110,427	0.6%	-	-	-	-	-	-	32,981	3.9%
15	985446106	鉄建建設	77,131	▲ 1.4%	25,212	15.4%	51,857	▲ 11.9%	61	-	-	-
16	580016621	浅沼組	75,981	▲ 20.6%	23,374	▲ 31.9%	52,607	▲ 14.3%	-	-	-	-
17	580015660	東洋建設	69,007	5.3%	45,801	32.1%	20,065	▲ 34.6%	2,857	-	282	90.1%
18	580058166	奥村組	67,831	▲ 39.3%	29,408	▲ 47.8%	38,416	▲ 30.5%	7	▲ 86.5%	-	-
19	340016390	福田組	67,682	▲ 8.8%	22,916	63.6%	44,151	▲ 26.3%	-	-	615	80.5%
20	985462502	東亜建設工業	66,991	13.3%	26,817	▲ 18.4%	36,844	37.1%	2,455	-	874	▲ 12.9%
21	985554604	飛鳥建設	65,312	▲ 25.2%	26,524	▲ 41.7%	35,031	10.0%	3,138	▲ 66.8%	617	23.0%
22	985672107	日本道路	59,923	12.0%	-	-	-	-	-	-	10,049	4.6%
23	985765402	松井建設	51,323	▲ 7.8%	8,626	18.5%	42,009	▲ 12.0%	-	-	688	9.1%
24	260084044	新日本建設	50,212	21.2%	-	-	-	-	-	-	25,211	39.9%
25	985865300	若築建設	48,676	7.6%	-	-	-	-	-	-	47	117.1%
26	580000390	イチケン	47,137	▲ 2.3%	6	▲ 99.8%	47,130	3.0%	-	-	-	-
27	985570902	ナカノブ一建設	45,474	3.8%	8,025	28.0%	37,449	▲ 0.3%	-	-	-	-
28	985391509	大豊建設	44,578	▲ 35.0%	22,663	▲ 31.3%	21,807	▲ 18.4%	107	▲ 98.8%	-	-
29	580055281	大末建設	42,956	14.4%	5,966	439.6%	36,989	1.5%	-	-	-	-
30	580000498	銭高組	42,396	▲ 27.1%	12,259	▲ 17.6%	30,136	▲ 30.4%	-	-	-	-
31	985190805	青木あすなろ建設	40,705	▲ 19.4%	11,956	▲ 40.0%	28,739	▲ 6.0%	-	-	245	▲ 73.5%
32	985351601	世紀東急工業	39,184	1.4%	13,838	7.7%	16,696	▲ 3.2%	-	-	8,649	1.3%
33	610005571	大本組	26,719	3.8%	12,061	3.6%	14,657	4.0%	-	-	-	-
34	330021912	北野建設	25,859	▲ 46.9%	-	-	-	-	-	-	-	-
35	340010117	第一建設工業	24,403	12.7%	-	-	-	-	-	-	379	1.9%
36	360001474	植木組	19,793	▲ 3.6%	8,388	▲ 4.9%	11,404	▲ 2.6%	-	-	-	-
37	985866101	佐藤渡辺	17,252	22.9%	-	-	-	-	-	-	1,988	▲ 1.5%
38	985231659	三井住建道路	16,026	8.3%	-	▲ 100.0%	-	▲ 100.0%	-	-	2,523	4.3%
39	220018509	佐田建設	15,775	▲ 4.7%	8,126	▲ 27.7%	7,648	44.0%	-	-	-	-
40	580015552	森組	12,755	27.0%	4,226	7.3%	8,529	39.8%	-	-	-	-
41	985555002	巴コーポレーション	12,520	39.4%	-	-	-	-	-	-	-	-
42	560008621	金下建設	7,838	▲ 4.3%	5,425	▲ 0.4%	2,413	▲ 11.9%	-	-	-	-
43	250306111	鈴縫工業	7,192	▲ 37.3%	3,667	▲ 46.2%	3,524	▲ 24.2%	-	-	-	-